

Carbon Rear Wing Type-2

共通取り付け説明書

FIT IN ▶ ABARTH500/595/695

■ THAB1058 カーボンリアウイング タイプ2

■ THAB1158 マットカーボンリアウイング タイプ2

この度はTHREEHUNDRED商品をお買い上げいただきありがとうございます。製品を安全にお使いいただくため、本書に記載されている取り付け方法をご一読いただき、確実に製品を車両にお取り付けください。作業前に製品に外観上の不具合がない事と、付属品の確認を行った上で作業を開始してください。

付属品

カーボンウイング ×1
ウイングステー(L/R) ×各1
翼端板(L/R) ×各1
アルミステー ×2
極抵頭ボルト ×4
トラスボルト(M5×20) ×4
トラスボルト(M5×25) ×4
トラスボルト(M5×30) ×8
ターンナット(M5) ×8
平ワッシャー(M5×12×0.8) ×8
スプリングワッシャー(M5) ×8
囊ナット(M5) ×8
B4クロ W5mm 1M ×1
本書 1部

1

車両を安全な場所に停車させ作業を行います。
ウイングステーの裏側にクッションテープを右の画像のように貼ります。
穴位置を決めるために、各部から寸法取りを行い穴をあけますが、製品を仮組みして、決めた穴位置が正しいかを確認してから、最終的な取り付け穴をあけてください。



2

純正ルーフスポイラーにステー取り付け用の穴を8か所あけます。
ウイングがセンターにくるように位置決めを行い、取り付け金具がウイングの内部に入る8.5~9mmの穴をあけます。
最初は少し小さめの穴をあけ、金具が落ちないサイズで穴のサイズをあけてください。大きい穴をいきなりあけると、金具がとまらない場合があります。



THREE
HUNDRED

Dukes & Co.

1-13-9 uehara shibuya -ku Tokyo Japan
mail to contact@threehundred.jp
Call 03-5738-7573

<https://www.threehundred.jp>

3

取り付け用の穴をあけましたら、金具を中に入れます。ビスを中に入れると金具が中でひらいて固定できます。
ステーを取り付ける前に、8か所すべてにビスを軽くねじ込み、金具を中でひらかせてからステーの本取り付け行って下さい。

※THAB1036と穴位置の互換性はありません

4



取り付け金具をルーフスポイラーに埋め込みましたら、ステーとウイングをのせて、全体の仮組を行います。
この際に翼端板も取り付け各部の位置を決めます。
取り付け位置、角度の調整を行い問題が無ければ各部を本締めし、翼端板を装着して作業は完了です。

ウイングを止めているネジ類は、振動で緩む事があります。必ず定期的な増し締めをお願いします。

■必ずお読み下さい

開梱包後、製品に傷や付属品が無い事を必ずご確認いただき、不具合がある際には速やかに弊社までご連絡をお願い致します。お時間が経ってからのクレームはお受け出来ない場合がありますのでご注意ください。